

県道改良

大用大方線改良を急げ

現計画を基本に実施する

／大方まちづくり課長



あぜち かずひろ 議員 畦地 一弘

切りたった道路。山が高いので大雨が降ると大量の水が流れてきて6回も崩落がおきて、住民は非常に迷惑をしている。排水溝も含め約40mの区間については道路の拡張工事をすべきと思う。

② 大屋敷の石神の道路は排水溝を埋めたため雨が降ると道路に水があふれ出て住民は非常に迷惑をしている。

③ 県道大用大方線の大井川口（大屋敷の芝崎猛様の屋敷のあと）から上へ80mの区間は道幅が側溝ぶたも含め2m80cmと狭く、通行する住民に支障をきたしている。この区間約80mの拡張工事をすべきと思う。

④ 加持川トド口のお地藏さんより下へ約50mの区間は見通しが悪く道も狭いので非常に危険である。拡張の改良工事をすべきと思う。

問 加持川地区は小学校が休校のため、甲才の店から、小学校の裏を通って、まだ工事をやっていないところの、工事を実施すると、加持川のまちおこしになる。大切な道路の改良であり、地域は活性化し、生き生きとしてくるのは確かである。町としては地域住民の生活向上を図るため、遅れている県道整備を県に強く要望すべきと思う。以下、4点を問う。

答

松田 大方まちづくり課長

① この部分は計画にはないが、人家周辺を待避所的に拡張するよう計画をしている。

② 排水溝については、県に要望していく。

③ 待避所的なスペースをとる計画になっている。

④ 基本的に今やっている箇所を先に進めていくということである。

答

矢野 大方健康福祉課長

関係機関に地域の状況を記載した要望書を提出すれば、その内容を調査し、設置可能かどうか判断をすること。

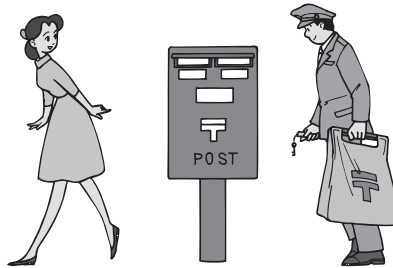
多く、手紙を出すのに加持の田村地区まで行かなければならない。橘川部落にポストを設置していただくよう関係機関に要請していただきたいが、町の考えを問う。

橘川に設置を

地区から要望書提出して

／大方健康福祉課長

郵便ポスト



問 大方橘川部落には郵便ポストがない。部落には高齢者が

問

町長は加持橘川線の峠の切り抜きから20mの区間の舗装を行うと話していたが、いまだ舗装されていない。いつ舗装するのか問う。

答

松田 大方まちづくり課長

間もなく実施する予定である。

町道改良

加持橘川町道改良

間もなく実施

／大方まちづくり課長